

『第9回福島眼科セミナー』

日時:2018年10月20日(土)18:00~20:00

会場:郡山ビューホテル (3階 コスモス)

福島県郡山市中町3-1

TEL:024-924-1111

会費:A・B会員:3,000円 C会員:1,000円

【特別講演Ⅰ】 18:00~19:00

座長:大原総合病院 眼科 主任部長 鈴木 勝浩 先生

演題:『緑内障ガイドライン(第4版)とOCT・OCTAを用いた
緑内障診断』

演者:埼玉医科大学病院 眼科
講師 庄司 拓平 先生

【特別講演Ⅱ】 19:00~20:00

座長:福島県立医科大学 眼科学講座 教授 石龍 鉄樹 先生

演題:『眼底血管イメージングの進化』

演者:群馬大学大学院医学系研究科 脳神経病態制御学 眼科学
教授 秋山 英雄 先生

※本講演会は、専門医制度認定事業2単位(認定事業番号:25171)を
申請中です。

※講演会終了後、情報交換会を開催いたします。

共催:福島県眼科医会
千寿製薬株式会社

『第9回福島眼科セミナー』

『緑内障ガイドライン(第4版)とOCT・OCTAを用いた緑内障診断』

埼玉医科大学病院 眼科

講師 庄司 拓平

2018年1月に新たな緑内障診療ガイドライン(第4版)が改訂された。今回の改定ではガイドライン中に言及されたエビデンスに関して「推奨の強さ」や「エビデンスの強さ」が新たに付記され、近年急速に普及した光干渉断層計(OCT)や新たな薬剤に関連する記載も追記されている。

本講演では新たな緑内障診療ガイドラインの改定ポイントを聴衆の先生方と一緒に確認したい。

また、OCT angiography (OCTA)は非侵襲的に網膜毛細血管構造を描出できるイメージング手法である。従来は緑内障患者にフルオレセイン蛍光眼底造影(FA)をはじめとする造影検査を行うことは稀であり、緑内障眼における血流動態は不明な点が多かったが、OCTAの臨床応用とともに理解が深まりつつある。

本講演では緑内障眼におけるOCTA所見の特徴と、今後の日常診療への応用の可能性について述べる。

『眼底血管イメージングの進歩』

群馬大学大学院医学系研究科 脳神経病態制御学 眼科

教授 秋山 英雄

蛍光眼底造影検査は眼科診療において不可欠ですが、重篤なアレルギーなどの合併症が問題とされています。それゆえ、同意書の取得や全身状態の精査などに時間がかかり、頻回に検査を行うことは困難でした。近年、非侵襲的に眼底血管を観察することが出来る機器が開発されています。それらの機器でどのように観察ができるのか、蛍光眼底造影と比べて何が足りないのか、蛍光眼底造影にとってかわるものか、症例提示をしながら述べていきたいと思っております。